

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2 月 20 日

事業所名 放課後等デイサービスれいあっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	室内で過ごす場合でも十分な広さを確保している。屋外活動中心で訓練を実施をしている。	個人で活動する場合のスペースが一か所しかないため必要な応じて使い分けできるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	加配職員以上の職員を配置している。	色々な専門性を持った職員の確保に努めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	入口から室内に及ぶ全面に段差がない。	トイレの入り口が車いすの大きさによっては入れないため改善したいが賃貸のため改造は不可である。車いす利用者が発生した場合は検討していく必要がある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	常勤職員は話し合い等で日々対応している。	非常勤職員は、常勤職員に比べて話し合いのタイミングが合わないところがあるので、書類等で確認してもらっている。更に意見の聞き取りが上がるようにしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	毎月、利用者の状況報告時にご家庭内の状況や要望を聞くようにしている。	ご意見等については、すぐに対応しているが今より良い事業所にしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	家族に配布をしている。	ホームページで公表しているため今後も継続していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	実施していない。	評価費が25万以上するため今の情勢では簡単に実施できない。助成金等があれば検討をしていきたいと思えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	毎月、研修項目を決めて実施している。社会情勢に合わせた研修も実施している。	資格取得のための費用を会社が負担するなどして参加を促している。今後も続けていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	日々の記録、毎月の状況報告書を通じて計画作成に反映させている。	今後も継続していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	6	研修を受講したものが居ないため安易に使用をしていない。	研修機関開催があれば積極的に参加して、内容を吟味して対応をしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	常勤職員を中心に、学校日と休業日のプログラムを作っている。	今後も引き続き職員からの情報や提案を参考にプログラムを立案していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	屋外活動中心であるため内容が固定することは少ない。	雨天時等により事業所内での活動時は、利用児童個々の状況に合わせて対応をしていきたいと思えます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	活動内容が一緒にならないように考慮して対応している。	毎日利用者と週数回利用者の混合になるため、課外レク時は引き続き重ならないように対応をしていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	活動内容を提示して児童に選択をしてもらっている。	屋外活動を希望する児童、屋内活動を希望する児童にも対応できるようにしていますので今後も続けていきたいと思います。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	利用者数、天候等に合わせ活動内容を検討している。	下校時間のズレ等により予定通りに行かない時があるが、内容に固執せず臨機応変に対応できるようにしていきたい。パート職員には時間制約が発生するため後日でも確認できるようにしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	家族への連絡等に関することを利用終了時間前までに話し合い、その日の事を振り返るようにしている。	情報共有のため翌日にも記録をとったり話をしたり出来る時間を確保しているので今後も続けていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	家族への連絡、利用者個人の記録簿に記載をして、モニタリングに活かすようにしている。	児童の成長過程の把握や課題についての検討機会に活用できる内容にしていきたいと思います。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	毎週、毎月、3か月ごとに児童の状況を把握できるようにしておき、評価結果によって計画内容を変更している。	職員個々の情報を収集してサービス計画に反映するようにしています。個々の職員により能力差があるため今後も研修等に参加をして能力向上を目指したいと思います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	3	必要なものは取り込んでいる。	新入職員、在籍職員ともに内容を把握していない場合があるので場面にに応じて内容に準じているかを勉強していきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	基本は児童発達管理責任者が参加している。特性が強い児童の場合は、よく知っている職員から情報を得ている。	会議に直接処遇の職員が参加する場合は、勤務時間との兼ね合いを調整する必要があるため、調整が出来た場合は参加できるようにしていきたい。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	3	学校によって差があり苦慮する面がある。翌週の予定表で確認するなどして対応している。	学校の先生の予定等があるため時間を取って話すのは相談支援専門員の調整してくれた会議が中心であるため、送迎時に先生と会う機会があれば情報共有できるようにしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	受け入れ態勢が整っていない。	看護職員を常勤させる必要があるため現状は受け入れできない。需要があれば検討をしていきたいと思います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	6	直接的な情報提供は難いため、保護者から園の資料をいただくか、もらってもらうようにしている。	園の様子は保護者からの情報が中心である。園での対応と、小学生になった児童との対応は違ってくるが、支援に必要な内容は得ていくようにしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	6	実績なし。	サービス管理責任者、相談支援専門員経験者がいるため必要時は対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	6	研修には参加する機会があっても、助言を受けた実績はない。	研修が実施される場合は参加をするようにしています。今後も研修受講の機会を大切にしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	障害のない児童との交流はあります。	コロナ感染のため積極的には交流ができませんが、課外レク等で他校の児童との交流は今後も続けていきたいと思います。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0	6	開催情報がない。	情報があれば参加をしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	送迎時、メール、毎月の状況報告等で情報を共有している。	相談事があれば助言できる範囲で対応していますので続けていきたいと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	6	専門研修を受けた職員がいないため実施していない。	ヘアレント・トレーニングの受講者は居ないが、家族からの相談に対しては助言をしている。受講機会があれば参加して活かしていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	インテーク時に実施している。	重要事項説明書に詳細記載されているため、その内容を説明していく。運営規定は閲覧可能なように設置しているため必要に応じて閲覧を進めていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	常勤職員が中心に対応しており非常勤からは、その子の様子を聞き取るようにしている。	保育士、児童指導員、相談支援専門員等が在籍しているため引き続き必要時には対応していきたい。非常勤職員は時間帯によっては対応できないため常勤中心での対応をしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	保護者を集めての会議等の実績はない。	個別で対応するようにしているため、集団による保護者会の予定はない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	内容を書類にて残すようしており可能な限り当日対応をしている。	苦情内容によっては後日対応になるが引き続き当日対応を原則として対応をしていきたいと思う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	毎月広報誌を配布している。月間計画、メール等による連絡体制も構築している。	利用日のデイサービスでの状況報告をしている。広報誌も毎月発行し、連絡体制もメールや電話で対応できるようにしている。今後も引き続き実施していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	鍵付き保管庫、パソコン管理、メール内容についての漏洩に関して注意している。電話も利用者に聞こえないように場所を選んで会話している。	外部の方などが来所された時は、利用者の名前等が分からないようにしているため今後も継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	アセスメント時に把握をして対応方法を検討している。	伝達方法を個々に合わせるようにしている。メール、口頭、文書などを利用して伝えるようにしているため、今後も継続していく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	地域内の利用者がいた場合を考慮して開催していない。	招くより、こちらから出かけるようにしている。開催日時や場所によっては参加できない場合やコロナ関連で政自体がない。極力参加をしていくようにしていきたい。	
非常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	職員には周知しているが保護者にはマニュアル配布はしていない。	職員用には掲示するなどの対応をしているが保護者には特に伝えていない。時事的な話題でマニュアル内容を保護者と話すことが中心となっているため再度整備をしていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
時 等 の 対 応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	訓練は、火災、地震等地理に合わせた内容にしているが、コロナ感染者や学級閉鎖が出たときは、実施を避けてきた。	以前は消防に届け出をしていたが、消防から届け出対象外という事であったため、不定期実施も行いたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待研修を定期的におこなっている。	虐待事案の内容が多岐にわたり境目が分かりにくいところがあるため、例を出すなりして分かりやすい研修にしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	実績なし。	実績はないが、手をつなぐことも拘束になると言われたため、保護種に説明をして理解を得るようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	実績なし。	インテーク時に聞き取りをしている。嫌いなものは提供しないようにしている。引き続き色々なアレルギーがあるため、保護者には聞き取りをしていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	6	ヒヤリハットの定義がなく、職員の受け取り方で変わってくるため、状況報告書で把握している。	事例集を作成していませんが、タイムリーに状況報告書を回覧し再発防止に努めていきたい。